

風評の影響の払拭に向けた取組について

令和8年8月
観光庁

国内外の旅行者等に向けた広報

①(一社)日本旅行業協会(JATA)会員旅行会社(約1,200社)、(一社)全国旅行業協会(ANTA)会員旅行会社(約5,400社)及び教育旅行関係者に対して継続して情報発信等を実施。

○ 広報誌によるALPS処理水の正確な情報発信

- ・観光庁と経済産業省が連携し、JATA及びANTAの広報誌に、風評払拭の取組について記事を掲載。

(JATAメールマガジン：令和8年6月配信、ANTA NEWS：令和8年7月掲載)

⇒今後も業界内機関紙、メールマガジン等に、ALPS処理水に関する情報を継続的に掲載。



▲ANTA NEWS 2026 夏号掲載記事

○ 現地に足を運んでいただき安心の共有を図る取組

- ・観光庁、経済産業省や福島県が連携し、旅行会社向けの福島第一原子力発電所等の視察を実施し、福島県へのツアー商品造成を促進。

(令和3年度11月、令和4年度2月、10月、令和5年1月、令和7年11月に実施)

⇒今後も旅行商品造成に向けてツアーを継続的に実施。

- ・教育旅行関係者を対象とした視察（オンライン開催含む）を実施。

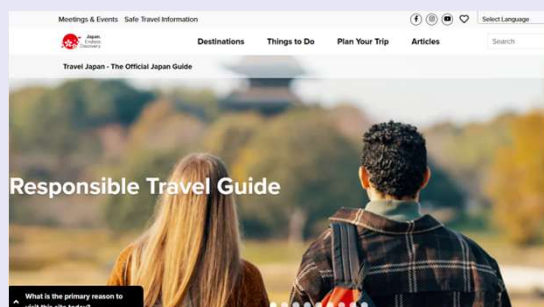
(令和3年10月～令和8年3月までに37回実施、約420名が参加)

⇒今後も修学旅行等の誘致促進に向けて、教育旅行関係者のツアーの実施等の支援を継続的に実施。

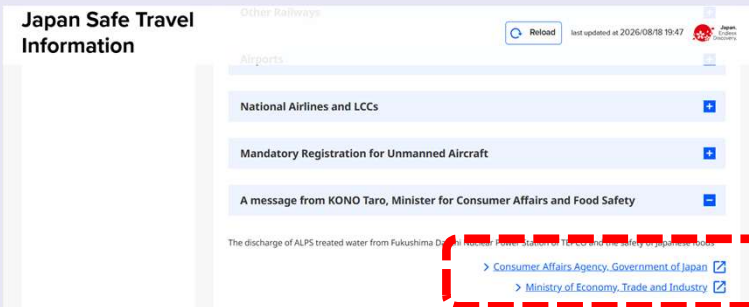


▲福島第一原子力発電所1号機の視察の様子

②令和3年6月より、日本政府観光局(JNTO)グローバルサイトに、経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへのリンクを掲載し、日本に関心のある外国人旅行者に向けた正確な情報発信を継続して実施。



▲JNTOグローバルサイト



▲Japan Safe Travel Informationページ内にリンクを掲載



▲経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへ誘導

福島県における観光関連復興支援事業

観光の観点から、多くの方に実際に現地を見ていただくことが最大の風評対策であると考えており、福島県における観光復興を促進するため、同県が福島県観光関連復興事業実施計画に基づいて実施する①滞在コンテンツの充実・強化、②受入環境の整備、③プロモーションの強化、④観光復興促進のための調査の取組を支援し、国内外から福島県への誘客を図る。

ホープツーリズムの取組について

(ホープツーリズム参加実績:令和3年度9,848名、令和4年度17,806名、令和5年度16,476名、令和6年19,071名、令和7年19,558名)

- 世界で類を見ない複合災害を経験した唯一の場所である福島での「ホープツーリズム(※)」は、浜通り地域が中心となる「福島ならではの」観光コンテンツ。
※震災・原発事故の被災地域をフィールドとした福島県が推進する学びの旅のこと。
- 教育旅行や企業等の研修旅行といった団体旅行向けの取組に加え、令和5年度からは、団体の枠組みに属さないサイクリングやキャンプとの組み合わせによる個人旅行客を対象とした取組の推進や、インバウンド向けのホープツーリズムの取組を強化することにより、ホープツーリズムによる更なる誘客を図る。

滞在コンテンツの充実・強化

- ・県外の教育関係者や企業を対象としたモニターツアーを実施し、教育・研修のプログラム及びモデルコースを造成・磨き上げ



ホープツーリズムのプログラム造成のためモニターツアーを実施(浪江町 請戸小学校)

受入環境の整備

- ・ホープツーリズム及びサイクリングに関する知識を兼ね備えたガイドの養成
- ・多言語ガイドを育成



浜通りの魅力を発信するサイクルガイドの養成講座を実施(新地町 県道271号)

プロモーションの強化

- ・台湾・タイ等での現地窓口設置を通じた現地旅行会社への商品造成の働きかけ
- ・WEBサイトやSNS、旅行博における福島の魅力のPR



台湾 日本東北遊楽日に出展し福島の魅力をPR

観光復興促進のための調査

- ・風評の実態把握や課題抽出のための調査を実施



- 令和4年度に「ブルーツーリズム推進支援事業」を新設し、風評が特に懸念される沿岸部における海の魅力を体験できるコンテンツの充実や海にフォーカスしたプロモーション等の取組を総合的に支援する。
- 令和7年度の採択実績は15件（岩手県6件、宮城県6件、福島県1件、茨城県2件）
 - 岩手県：田野畑村、（一社）宮古観光文化交流協会、大槌町、（株）かまいしDMC、大船渡市、陸前高田市
 - 宮城県：南三陸町、（一社）石巻圏観光推進機構、（株）インアウトバウンド東北、（一社）七ヶ浜町観光協会、名取市、亘理町
 - 福島県：相馬市
 - 茨城県：鹿嶋市、大洗町

海水浴場等の受入環境整備支援

（取組事例：大洗町）

大洗サンビーチ海水浴場の利便性を向上するため、水陸両用車いすを更新。「ユニバーサルビーチ」の充実を図る。



大洗サンビーチ

コンテンツの充実支援

（取組事例：南三陸町）

初心者や親子連れが活用しやすいペダル操縦式カヤックを利用したコンテンツ造成のため、モニターツアーを実施。



足こぎカヤックモニターツアー

プロモーションの実施支援

（取組事例：七ヶ浜町）

ブルーフラッグ取得「菖蒲田海水浴場」を中心に、七ヶ浜町の持つ海の魅力について情報発信を行うため、ツーリズムEXPOに出展。



ツーリズムEXPOでのPR

ブルーフラッグ認証取得支援

（取組事例：陸前高田市）

海の環境問題及びブルーフラッグについて理解と関心を深め、海に対する地域の主体的な関わりを促進するため、中学生を対象に環境教育を実施。



ブルーフラッグ環境教育